

「ゆづちゃんはめんこい（かわいい）なや。」

「かみがふだで（多くて）いいごど（いいね）。」

わたしの家ぞくや親せきのお年よりに、よく言われます。

わたしのすきな仙台弁は、ほかにも「あばいん（おいで）」「あんだい（あなたの家）」「おらい（自分の家）」「いずい（いわかんがある）」などたくさんあります。

家でしか使っていなかった仙台弁ともとなかよくなったのは、総合の地元学がきっかけです。地元学発表会で、わたしたちのグループは、仙台弁人形げきをしました。出し物は二つ。「赤ずきん」と「わたしと 小鳥と すずと」です。

「この、ずんだもちとさきかまぼこをもっていつてけいん（ちようだい）。」

「分かった。」

というようなセリフを、家で考えて台本を作りました。

「ごっつおう（ごちそう）がごっつおう（ごちそう）をもって歩いてる。」

これは、オオカミがごちそうをもっている赤ずきんを見て言うセリフです。

「わたしと 小鳥と すずと」は、れん習の時に仙台弁のたつ人の山ぎきさんに聞いてもらいました。教えてもらったことは、すずと言わずに「すんず」と言うことです。

「何それ？」

「え？ 何ていう意味なの？」

と何度も言われました。その度に本当は少し心の中でムカツクとしたけれど、ずっとみんなにはかくしていました。だって、知らないのはしょうがないですよ。

本番ではみんなすら言えて、大成こう。地元学の先生や二年生にすぐよろこんでもらえました。

仙台弁は、おもしろいしとってもあつたかい言葉です。

「めんこい」と言われると、とつてもうれしくなります。昔のあそびグループでは、お店に入る時「もうす」と言っていました。コンビニにだまって入るよりも、だんぜんいいと思います。発音は、文字では書けない音があり

ます。それが温かさにつながっているような気がします。

さい近仙台弁を使う人が少ないので、わたしはどんどん仙台弁を使って、まわりに広げていきたいです。